

## 復活前主日特祷

すべての命と力の源である神よ、あなたは御子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、御子にあってすべてのものを新しくしてくださいました。どうか、私たちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、御子がすべてを治められるとき、私たちがその栄光のうちに共にいることができるようにしてください。父と聖霊とともに、賛美と誉れ、栄光と力が、今もまた永遠に御子にありますように。アーメン

## 旧約聖書代行 使徒言行録 10章34-43節

10:34 そこで、ペトロは口を開きこう言った。「神は人を分け隔てなさらないことが、よく分かりました。35 どの民族の人であっても、神を畏れて正しいことを行う人は、神に受け入れられるのです。36 神は、イエス・キリストを通して御言葉をイスラエルの子らに送り、平和を告げ知らせてくださいました。このイエス・キリストこそ、すべての人の主です。37 あなたがたは、ヨハネが洗礼(バプテスマ)を宣べ伝えた後に、ガリラヤから始まってユダヤ全土に起きた出来事をご存じでしょう。38 つまり、ナザレのイエスのことです。神はこの方に聖霊と力を注がれました。イエスは、方々を巡り歩いて善い行いをなし、悪魔に苦しめられている人たちをすべて癒やされたのです。それは、神が共におられたからです。39 私たちは、イエスがユダヤの地方とエルサレムでなさったことすべての証人です。人々はイエスを木に掛けて殺しましたが、40 神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前に現してくださいました。41 しかし、それは民全体に対してではなく、前もって神に選ばれた証人、つまり、イエスが死者の中から復活された後、食事を共にした私たちに対してです。42 そしてイエスは、ご自分が生きている者と死んだ者との審判者として神から定められた者であることを、民に宣べ伝え、力強く証しするようと、私たちにお命じになりました。43 イエスについては、預言者も皆、この方を信じる者は誰でもその名によって罪の赦しが受けられる、と証ししています。」

## 詩編 第118篇 1-2, 14-24節

- 1 イスラエルがエジプトから // ヤコブの家が言葉の違う民の中から出たとき
- 2 ユダは主の聖所となり // イスラエルは主の治めるところとなった
- 14 主はわたしの力、わたしの歌 // 神こそわたしの救い
- 15 喜びと勝利の叫びが正しい人の天幕にある // 「主の右の手は力を示す
- 16 神の右の手は高く上がり // その右の手は力を示す」
- 17 わたしは生き長らえて死ぬことなく // 主のみ業を告げ知らせよう
- 22 家造りの捨てた石が // 隅のかしら石となった
- 23 これは主のみ業 // 人の目には不思議なこと
- 24 今日こそ主が造られた日 // この日をともに喜び祝おう

#### **使徒書 コリントの信徒へ手紙一 15章19－26節**

15:19 この世にあって、キリストに単なる望みをかけているだけなら、私たちは、すべての人の中で最も哀れな者となります。20 しかし今や、キリストは死者の中から復活し、眠りに就いた人たちの初穂となりました。21 死が一人の人を通して来たのだから、死者の復活も一人の人を通して来たのです。22 つまり、アダムにあってすべての人が死ぬことになったように、キリストにあってすべての人が生かされることになるのです。23 しかし、一人一人にそれぞれ順番があり、まず初穂であるキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属する人たち、24 それから、世の終わりが来ます。その時、キリストはあらゆる支配、あらゆる権威と勢力を無力にして、父なる神に国を引き渡されます。25 キリストはすべての敵をその足の下に置くまで、国を支配されることになっているからです。26 最後の敵として、死が無力にされます。

#### **福音書 ヨハネによる福音書 20章1－18節**

20:1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、

イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って、彼らに告げた。「誰かが主を墓から取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。」3 そこで、ペトロともう一人の弟子は外に出て、墓へ行った。4 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子のほうが、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。5 身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあるのを見たが、中には入らなかった。6 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。7 イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。8 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入って来て、見て、信じた。9 イエスが死者の中から必ず復活されることを記した聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。10 それから、この弟子たちは家に帰って行った。

11 マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中をのぞくと、ヨハ 20:12 イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が、一人は頭の方に、一人は足の方に座っているのが見えた。13 天使たちが、「女よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「誰かが私の主を取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。」14 こう言って後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。15 イエスは言われた。「女よ、なぜ泣いているのか。誰を捜しているのか。」マリアは、園の番人だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか、どうぞ、おっしゃってください。私が、あの方を引き取ります。」16 イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。17 イエスは言われた。「私に触れてはいけない。まだ父のもとへ上っていないのだから。私のきょうだいたちのところへ行って、こう言いなさい。『私の父であり、あなたがたの父である方、また、私の神であり、あなたがたの神である方のもとに私は上る』と。」18 マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「私は主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。